

■ 質問一覧（掲載分）

分野	質問項目	質問議員	掲載ページ
行政組織・ 税財政	人間の感覚を信頼せよ —マニュアルの弊害—	宮川 誠子	10
福祉・保健・ 医療	国民健康保険税引き上げと 未納者問題のゆくえ	大谷 忠幸	4
	なぜ志和堀保育所を 廃所対象とするのかを問う	牧尾 良二	5
	地域の拠点“公立小規模保育所”の 存続を！	谷 晴美	6
	生活保護たたきより最賃や年金の 引き上げを！	谷 晴美	6
	医療会計の広域化をやめ、 払える国保税にして	谷 晴美	6
	聴覚障がい者に対する情報保障の充実を	石原 賢治	12
	がん検診受診促進への取り組みと がん教育	小川 宏子	13
環境・衛生	ガス化溶解炉選定がエミッションに 与える影響	大谷 忠幸	4
	火葬場、残骨灰の処理、今後の配置	牧尾 良二	5
	東広島市役所地球温暖化対策実行計画	中平 好昭	7
	東広島市地域新エネルギービジョン	中平 好昭	7
	一般廃棄物処理基本計画	中平 好昭	7
産業・観光・ 雇用	東広島市の産業を活性化する施策の 取り組みは	池田 隆興	8

一般質問

平成24年第3回定例会

議員は、定例会で、市政全般について執行部に年3回質問することができます。
平成24年第3回（9月）定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。
ここでは、質問と答弁の要約を掲載しております。全文（会議録）は、市ホームページ、
または、議会事務局や市立図書館などでご覧いただけます。

■質問一覧（掲載分）

分野	質問項目	質問議員	掲載ページ
都市づくり	本市のインフラ整備の進捗状況を問う	牧尾 良二	5
	道路整備事業の進捗と市道下堀貞重線の改良	寺尾 孝治	11
教育・生涯学習・人権	市民ホールの優先順位と合併特例債期限の延長	大谷 忠幸	4
	長野地区へスクールバスの運行を！	乗越 耕司	9
	メイジャ・マクレ・14の普及を！	乗越 耕司	9
	綺麗ごと社会に終止符を 一戦後の価値観を問うー	宮川 誠子	10
	学校給食における食育と地産地消の充実	寺尾 孝治	11
	市民性・社会性を育てる「市民科」の提案	寺尾 孝治	11
	図書館サービスの水準の向上を	石原 賢治	12
	ジュニアオーケストラに関わる課題の整理を	石原 賢治	12
	子どもの「いじめ」早期発見の取り組み	小川 宏子	13
	登下校の事故続発！どうする通学路の安全対策	竹川 秀明	14
	「自分の命は自分で守るチカラ」の防災教育は	竹川 秀明	14
防災・安全	防災行政無線の今後の対応	池田 隆興	8
	道路・交通安全施設や防犯灯の整備	池田 隆興	8
	走行性や機動力から消防活動用バイクの導入は	竹川 秀明	14



質問者…大谷忠幸（青森市長）

【答弁】生活環境部長

ガス化溶融炉選定が エミッションに 与える影響

【質問】

最終処分場を増設しないため、焼却残渣を出さないガス化溶融炉の導入が必要だが、シャフト炉と流動床炉のタイプによりエミッション特性やごみの分別はどうなるのか。また、排出されるスラグの特性と処理方法の違いを問う。

エミッションとは

廃棄物や排熱の自然界への排出。これをゼロにすることを「ゼロエミッション」と言い、具体的に一つの産業・社会部門の中で廃棄物等を再利用するとともに、他部門での活用を含め、全体の廃棄物等をなくすこと。

（東広島市の環境より）

シャフト炉で生成されたスラグ、メタルは再資源化され、残った飛灰は、非鉄金属を回収し再利用する山元還元という方法で処分委託し、再資源化される。流動床炉で生成されたスラグ、鉄、アルミは再利用され、飛灰は、山元還元により処分される。その他出されるがれきなどの処理は、

今後の技術検討課題である。ごみの分別は、広島中央環境衛生組合で作成した一般廃棄物処理基本計画で、現在の10分別種から6分別種に集約可能とされた。ガス化溶融炉のタイプによりごみ分別やスラグの処理に大きな違いはないと思われる。

国民健康保険税 引き上げと 未納者問題のゆくえ

【質問】

国民健康保険は、国保税の



スラグとメタル

未納者にも保険証が交付され、医療給付費を押し上げていると考える。問題解決のため、未納の解消が必要だが、本市の未納が多い理由は収納課職員の評価の低さにあるのではないか。この業務は極めて過酷で、通常の減点主義の評価システムにはそぐわない典型であるが、新しい評価システムを導入してはどうか。

【答弁】総務部長

行政職の業務は多岐にわたり、全職員を均等な視点で評価するという観点から、仕事の成果や能力、態度などを総合的に評価している。国保税

の未納者が多い理由は、さまざまで、職員の評価は関連しないと考えている。今後も実効性のある適正で公平な人事評価制度の構築を推進する。

市民ホールの 優先順位と 合併特例債期限の延長

【質問】

市民ホールは維持費が毎年約1・9億円の赤字になるもので、優先順位は低いと考える。合併特例債の期限が5年延長されたが、いま一度、その必要性について問う。

【答弁】理事

市民ホールは、文化芸術鑑賞、文化芸術創造活動、生涯学習活動の場としてだけでなく、中心市街地のまちづくりにも重要な中核施設と位置づけている。本市が持続可能な都市となるためには、都市機能を高める市民ホールが重要であり、現段階では計画どおり整備したい。

●その他の質問項目 Ⅱ エルピーダ・シャープ問題



質問者…牧尾良一（威信会）

なぜ志和堀保育所を 廃所対象と するのかを問う

【質問】

廃止を検討している志和堀保育所の現状と、過疎地域における今後の保育所運営の課題を問う。

【答弁】 福祉部長

保育所適正配置基本構想に基づき、入所児童数が20人に満たない状態が3年間継続す



志和インター入口（北）交差点

【質問】 ①安芸・東広島バイパス②志和インター線交差点改良③県道東広島・白木線④県道瀬野川福富本郷線の各進捗状況を問う。
【答弁】 市長 ①安芸バイパスの供用予定は明確に示されていない。

本市の インフラ整備の 進捗状況を問う

【質問】 ②広島県が交差点改良に向け測量設計を行っており、渋滞緩和対策として、志和インターチェンジから国道2号方面に向かう右折車線を延伸するとともに、信号制御の調整による対策を予定している。
③安佐北区白木町境の志和工区約120m区間の用地取得及び移転補償を完了し、現在は、保安林解除申請し、解除後、速やかに工事に着手する予定である。
④国道2号方面の整備が優先され、国道2号から約1.6kmの区間の整備が完了し、延伸の約1kmの区間の用地取得と工事が行われている。

火葬場、 残骨灰の処理、 今後の配置について

【質問】

九州のある市において残骨灰に含まれる有価金属を売却し、財源に組み込まれているようであるが、本市の取り組みを問う。また、火葬場の老朽化など、建て替えや施設の



ひがしひろしま聖苑

【答弁】 生活環境部長 拡充を図るために再編等の必要性について問う。

【答弁】 生活環境部長

専門業者に委託し、残骨灰を処理施設へ運搬し、焼骨とその他のものを分け、焼骨は供養を行い、業者と契約した寺院の納骨堂等に収蔵している。有価金属を売却することは、遺族や市民の一部には不快感を持たれることも想像されるので、現行の委託処理の方式の継続が妥当であると考えられる。また、火葬場は建物や火葬炉の計画的な修繕を行い、施設の長寿命化を図りつつ、その利用状況に応じて、大規模改修や再編を含めた施設の更新の検討も進める。



質問者…谷^た晴^は美^み (日本共産党)

地域の拠点

「公立小規模保育所」の存続を！

【質問】

統廃合の対象となっている河内西や志和堀保育所は、存続が望まれる。効率ばかり追求するのではなく、税収を福祉に回すことが求められているが、市の考えを問う。

【答弁】 福祉部長

保育所適正配置基本構想に



志和堀保育所

基づき、入所児童数が20人に

満たない状態が3年間継続すると見込まれる保育所は、集団での児童の育ちの観点から、原則として統廃合を検討している。志和堀と河内西保育所は、この基準に該当しているが、地域の実情を考慮し、平成26年度末まで2年間、存続する。児童数を増やそうと努力される地域の取り組みを見守りたいと考えている。

生活保護たたきより

最賃や年金の 引き上げを！

【質問】

収入が生活保護水準未満の人で、生活保護利用者の割合は約2割しかいない。不正受給の対策のみが叫ばれ、社会福祉制度が使いづらくなっているが、専門的見地から対応すべきではないか。

【答弁】 福祉部長

生活保護受給者の増加傾向

に歯止めをかけるため、被保護世帯となる前の段階での経済的困窮に対する支援や、被保護世帯の早期の自立を支援していくシステムの強化が必要であり、特に就労可能な年齢層に対する効果的な雇用、労働施策の確立が、喫緊の課題となっている。国は、社会保障・税一体改革大綱を閣議決定し、生活困窮者対策と生活保護制度の見直しに総合的に取り組むとしており、市としても期待している。今後も訪問調査等による被保護世帯の正確な実情把握に努め、公平な保護行政を推進したい。

医療会計の

広域化をやめ、 払える国保税にして

【質問】

国保の広域化のため、一般会計からの法定外繰入をなくし、保険税の引き上げに転嫁するよう国から指示があるようだが、国庫負担を削減したまま、負担増と徴収強化を推進する姿勢では、国保の悪循

一般会計からの法定外繰入とは

一般会計から国民健康保険特別会計への繰入は、法律によって保険税の軽減分や人件費などに限られている。法定外繰入とは、それら以外に、財政赤字の補てんなどのために繰り入れることをいう。

【答弁】 副市長

平成24年度の国民健康保険の税率引き上げは、歳出に見合う財源を確保し、国保財政の安定運営のために実施した。現在、国民健康保険の都道府県単位化や低所得者対策が議論されており、本市も、これらの状況を注視し、的確に対応したいと考えている。

なお、負担軽減のための一般会計からの繰り入れは、他の医療保険の加入者にとっては二重の負担となるため、慎重に検討すべきと考えている。



質問者…中平好昭(合志会)

東広島市役所 地球温暖化対策 実行計画について

【質問】

新庁舎の実施設設計後、期間も経過したが、環境、省エネに配慮した機器等の変更、設備増はあるか。また、公的施設の照明のLED化について、電力削減、温室効果ガス削減のために、調査、研究して取り組む必要があると思うが、考えを問う。

【答弁】副市長

実施設計後において基本的な変更や設備の増はない。また、公的施設の照明のLED化については、防犯灯の約9%をLED化しているほか、公園などの外灯、学校などのトイレや廊下など比較的照度にとられない箇所において、新設や改修にあわせてLED化を図っている。今後

は、先進事例・技術的な進歩も踏まえながら検討したい。

東広島市地域 新エネルギー ビジョンについて

【質問】

東広島市地域新エネルギービジョンの取り組みについて、廃棄物系バイオマス・未利用バイオマスの利用率を上げるための具体的な施策内容を問う。



太陽光発電システムを設置した住宅

また、太陽光発電システム
の設置費補助は継続するの
かを問う。

【答弁】生活環境部長

東広島市バイオマスタウン構想を作成し実現可能性のある4つのプロジェクトを中心に推進することを公表した結果、民間事業者から数件の事業提案がある。事業化が可能なものへの支援や、地域からの提案や実証モデルとしての事業創設を行うなどの支援を検討したい。

また、太陽光発電システム設置費補助は、普及率の目標を50%と定め、引き続き、普及推進をしていきたいと考えており、平成25年度以降については、普及の状況やシステム価格、売電価格など、総合的に勘案しながら検討する。

一般廃棄物処理 基本計画について

【質問】

広島中央環境衛生組合で計画されているガス化溶融炉の



バイオコークス

機種を、仮にシャフト炉とした場合、石炭コークスの助燃剤としてバイオコークスが、開発されているが、利用について見解を問う。

【答弁】生活環境部長

新施設の処理方式については、ガス化溶融の3方式を主に、今後も検討を継続されているが、シャフト炉と仮定した場合、燃料としてのバイオコークスなどについては、例えば、今後の学術専門家、市民などを交えた技術検討での議論や先進事例での利用方法などを参考に、多角的な議論を尽くしていくことを広島中央環境衛生組合にお願いしたい。



質問者…池田隆興（合志会）

東広島市の産業を活性化する施策の取り組みは

【質問】

産業活性化方策に基づき、中小企業の新商品開発など、新産業の創出の支援や工業団地開発に伴い企業の誘致を積極的に行うべきではないか。

【答弁】市長

研究成果の市場化には、マーケティングからプロモ-



防災行政無線施設

ションまで一貫した支援が必要である。寺家地区産業団地の整備等の調整を進めており、「環境、医療、福祉などの成長分野の誘致」、「本社や研究開発機能などの将来も国内に残ると思われる機能の誘致」、「産業構造の複層化」の3つの視点を踏まえ、戦略的な誘致・留置活動を展開したい。

防災行政無線の今後の対応について

【質問】

ほかの情報伝達手段と異なり、防災行政無線は一方的に情報が入るため、高齢者に重宝されている。防災行政無線が廃止されても、屋外放送施設を有効活用できないか。また、防災行政無線による地域情報の放送をコミュニティFMで代行できないか。

【答弁】総務部長・企画振興部長

既存の防災行政無線は、コ

ミュニティFMを活用した防災情報の伝達システム普及後に廃止する予定だが、津波や河川の氾濫情報伝達手段として有効であり、地域によっては活用を検討したい。コミュニティFMでの地域情報の放送については、行う方向でFM東広島と協議中である。

道路・交通安全施設や防犯灯の整備について

【質問】

道路・交通安全施設の維持修繕は、通常の道路パトロールに加えて、住民自治協議会との連携による情報提供が受けやすい窓口が必要ではないか。また、防犯灯のLED化に要する経費と、防犯灯の設置・管理運営の自治協議会への移管はどうするのか。

【答弁】副市長

道路の維持修繕は、パトロールによる早期発見に努めているが、市民からの情報提



LED 照明防犯灯

供が最も重要であり、自治協議会との協働により、どのように地域との情報共有や事業実施ができるか検討する。LED防犯灯の本体価格を含めた設置費は、約1万2000円、蛍光灯は約7000円、電気代はLEDが月額156円、蛍光灯が月額291円で、3年程度で設置経費の差額を電気代で賄える。また、LEDは寿命が長く、長期的には大きな経費削減効果が出る。防犯灯の設置及び管理運営の地域移管は、市全域へのLED化が完了し、管理実績を踏まえた上で、改めて検討する。

●その他の質問項目 Ⅱ 財産管理



質問者…**乗り越耕司**（合志会）

【答弁】**学校教育部長**

長野地区へ スクールバスの 運行を！

【質問】

本市の遠距離通学児童・生徒への支援は、自転車通学へのヘルメット購入補助、公共交通定期券購入補助、スクールバス運行、通学バス運行補助等がある。これらの支援は、地域で子育てする世代にとって、経済的、時間的負担の軽減につながる重要なものである。そのような中、板城小学校区の長野地区の通学距離は4キロから6キロあり、蚊無トンネルができ道路が整備されてからは、交通量も多くなつたため、不審者対策も含め、児童の安全対策を考え、保護者が車で送っていると聞いている。長野地区の通学の現状把握とスクールバス運行についての考えを問う。



路線バスで通学する児童

板城小学校の長野地区通学バス運行は、対象児童が6名、個人名義の車両を保護者の輪番制により毎朝運行されており、費用負担の軽減のために、市から年額で10万円の補助金を交付している。長野地区は、公共交通機関による通学が困難な地区であるため、より有効な方策を今後検討する。また改めて、市全体の通学の方法、安全のあり方、保護者負担の不公平感の解消、これまでのスクールバスの運行の経緯、統廃合への対応を含

め、さまざまな角度からの検討が必要であり、課題を整理・検討したい。

メイジャ・マクレ・14 の普及を！

【質問】

急速に高齢化が進む中、健やかで活力ある社会とするため、健康を増進し発病を予防する1次予防に重点を置いた対策を推進し、健康寿命の延伸等を図る必要がある。シニアの生涯スポーツとして、スローピッチソフトボール、メイジャ・マクレ・14がある。市内では、わくわくスポーツランドこうちでチームをつくり活動しているが、本市で積極的に普及させてはどうか。スポーツは健康づくりだけでなく、人間関係を深めたり、コミュニティの輪を広げたり、地域関係の連携を深めたりすることにもつながる。中高齢者へスポーツに対するアンケート調査を行い、生涯スポーツや健康づくりの推進の

参考にしてはどうか。

【答弁】**生涯学習部長**

気軽に幅広い年齢で楽しめるニユースポーツの普及は、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでおり、スローピッチソフトボール、メイジャ・マクレ・14もその候補の1つである。広く実施されるには、楽しんでいただくながらルールを覚え、用具にも興味を持つていただくことが鍵となるので、指導できる人の協力を仰ぎながら体験の場を設けたい。中高齢者の意識調査はいくつか実施しており、本年度は、各小学校区の体育振興会などへスポーツ全般について、アンケートを行う。

メイジャ・マクレ・14とは
メイジャ（名のある）、マクレ（お年寄り）、14（14インチサイズのボール）をキーワードに、米国で考案された独自のルールのもと、安全性・ゲーム性を配慮して楽しむスローピッチ・ソフトボールのこと。
（全日本健康スローピッチソフトボール連盟HPより）



質問者：宮川 誠子（新風21）

綺麗ごとと社会に

終止符を

「戦後の価値観を問う」

【質問】

いじめ問題に表れているこの国の危機的状況は、人間の感覚、感性等、物事の道理や本質を無視した綺麗ごとの価値観が、幅をきかせ過ぎていくことの弊害である。物事の本質を真正面からとらえ、恐れることなく課題に向き合う姿勢こそ大切である。そこで、体罰、男女平等、世襲という、戦後タブーとされてきたことを真正面から質問する。

まず、体罰は、越えてはならない一線を越えることを恐怖する心である畏怖心や人の痛みを理解する感受性等を育てるためには必要不可欠な経験になるのだと認識している。また、男女は本質が違うもので、同じに扱うことが平



等とは言えない。男であろうと女であろうと、一人一人の価値を正當に評価することが物事の本質である。最後に、世襲批判も目に余るが、先祖代々伝わってきた職業を継ぐことは、簡単でないからこそ、

価値があるものである。これらについて認識を問う。

【答弁】 教育長

学校教育法で、児童・生徒に懲戒を加えられるが、体罰は加えられないと規定されているが、愛情に裏打ちされた厳しさを持って児童・生徒に指導することは、必要不可欠

である。男女平等については、独立した一人一人の人格として尊厳を重んじ、異性の特性や違いを受けとめる姿勢の育成が重要だと認識している。また、我が国の伝統文化の技や精神等は、世襲によって受け継がれてきたと認識している。人間としてのあり方や生き方など、古来より大切にされてきた物事の本質をとらえた価値観を継承し、心に迫った教育を行うことがいじめの真の解決につながると考えている。

人間の感覚を信頼せよ 「マニユアルの弊害」

【質問】

経験と知識により培われた人間の判断力や感覚は、形式的なマニユアル化はできない。失敗しないためにマニユアルどおりに仕事する後ろ向きな職員が増えている。マニユアルに頼るのではなく、自ら状況を把握し、困難にも自力で道を切り開く方法を考

え、実行し、失敗を恐れず、困難にめげず、課題クリアしていく職員を1人でも多く育てていただきたいがどうか。

【答弁】 市長

業務マニユアルは、作業の効率化やミスの軽減化など、一定の効果があるが、機転がきかないことや感性等が損なわれることが懸念をされる。主体的で積極的な姿勢で状況の変化を的確にとらえ、市民の皆様の目線に合わせて、改革性や先駆性、創造性を持ちながら、柔軟に各種施策や事務事業を進める職員個々のスキルや感性の醸成ができるよう、人材の育成や仕組みづくり、環境づくりに努めたい。



東広島市職員人材育成基本方針



国道375号山陽本線の跨線橋整備



質問者：寺尾孝治（新風21）

道路整備事業の進捗と市道下堀貞重線の改良

【質問】

次の道路等の整備計画を問う。①国道375号御園宇バイパスの跨線橋の部分。②東広島高田道路の残区間。③都市計画道路吉行小谷線の西高屋駅周辺。④県道造賀田万里線白市工区。⑤砂防河川萩原川の未整備区間。⑥市道下堀

貞重線の狭あい部分と県道造賀田万里線との結接部分。

【答弁】市長・都市部長・建設部長

①山陽本線の跨線橋を含む藤田沖交差点までの整備は、平成25年度完了予定である。

②③今後の整備は県の道路整備計画に示されていない。

④平成25年度末に事業完了予定である。

⑤県単独の砂防事業で、予算確保が困難とされている。

⑥狭あい部分は、用地取得交渉が難航している。県道造賀田万里線の交差点部分は、改善対策のため、地権者と協議するとされている。

学校給食における

食育と

地産地消の充実

【質問】

学校給食での地産地消と食育は、具体的にどうするのか。

【答弁】学校教育部長

地産地消は、給食に必要な

量の野菜等の確保体制づくりへの協力をJA等に依頼し、収穫時期に応じた献立の立案、納入業者等への情報提供、規格外野菜等の受入れを行っている。食育は、食育推進校を指定し、指導の工夫・充実、食育参観日、講演会等による保護者・地域との連携について研究などを行っている。

市民性・社会性を育てる「市民科」の提案

提案

【質問】

品川区が独自に創設した教科である「市民科」は、市民性、社会性の育成を目標としている。本市でも、郷土を愛する教育から、担う、守るへと進化すべきとの視点で次のことについて問う。中学校で必修になった武道に課題等はないのか。郷土の歴史や伝統をどう教えているか。地域教材及び展開事例集は、どう扱っているか。学習指導要領等に拠らない教育課程が編成できる教育課程特例校の指定



小学校の食育参観日

についての考えと教育の独自性、差別化について問う。

【答弁】教育長

武道は、必修化の趣旨等の理解と安全な授業展開を図る研修会を今後も開催したい。郷土の歴史教育は、一校一和文化学習に取り組むなど、学校教育活動全体を通して取り組んでいる。地域教材及び展開事例集は、各小・中学校へ配布する。特例校指定は、小中一貫教育のモデルである高美が丘小・中学校において、特例校の指定を検討することとしている。本市独自の指導も必要であり、郷土愛を持ち、国際社会に貢献できる児童・生徒を育成したい。



質問者…石原賢治（市民クラブ）

図書館サービスの水準の向上を

【質問】

他の図書館等と連携し、住民の求める資料等の提供などを行うレファレンス・サービスの高度化と、学習機会に関する情報の提供を行うレフェラル・サービスの充実について体制は整っているのか。また、高齢者、障害者、そして、外国人等に対するサービスについても問う。

【答弁】生涯学習部長

レファレンス・サービスは、県内公共図書館の蔵書検索ができる「らいぶらりネット」を活用し、レフェラル・サービスは他の図書館等の情報提供を行う体制を整えている。高齢者、障がい者及び外国籍住民へのサービスの向上については、大活字本、点字資料、

音訳テープ、洋書等を収集し、複数の館に拡大読書器を備え、中央図書館には対面朗読室や思いやり駐車場表示板を設置し多目的トイレのオストメイト対応を予定している。

聴覚障がい者に対する情報保障の充実を

【質問】

聴覚障がい者に対する情報保障として、手話通訳の設置がある。しかし、市が主催す



来 (ら) いぶらりネット@ひろしま

る行事で手話通訳者の配置があつたりなかつたりするが、なぜそんなことになるのか。

【答弁】福祉部長

指摘があつたように、行事によって手話通訳者等が配置されていないものがあり、障がいがある人もない人も共に自分らしく生きる社会を実現するには、どのような方が参加されても必要な情報を得られる体制を設けておくべきであつた。引き続き、地域共生のまちづくりを目指し、その理念を再度認識し、施策の推進に取り組んでいきたい。

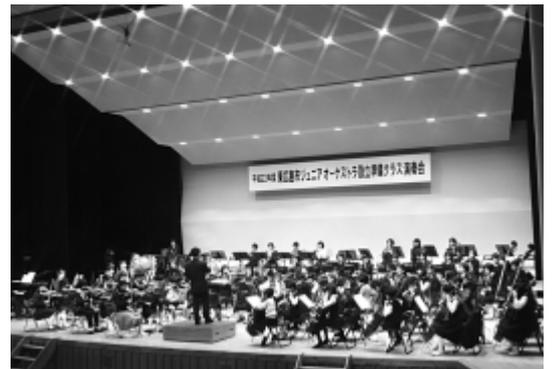
ジュニアオーケストラに関わる課題の整理を

【質問】

東広島市ジュニアオーケストラは、いつ設立されるのか。また使用していない楽器の保管状況及び楽器体験の出前講座等について、将来を見据えた明確な基準を設けるなどして有効活用すべきだと思ふが考えを問う。

【答弁】企画振興部長

設立は、準備クラスの形のまま、正式なジュニアオーケストラへ移行したいと考えており、市民ホール開館までにはと考えている。楽器管理は、専門職員等が細心の注意を払って管理に努めている。当面は、生涯学習フェスティバルや生涯学習センター主催講座をはじめ、小・中学校の授業、いきいき子どもクラブ、放課後子ども教室、生涯学習出前講座などの体験会等を通じて多くの方に楽器に触れてもらえる機会を提供することで音楽への関心・興味を持っていただくなど、裾野を広げていきたいと考えている。



東広島市ジュニアオーケストラ設立準備クラス

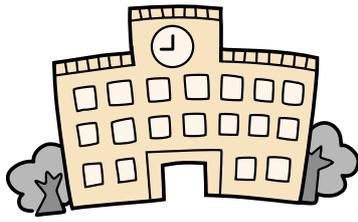


質問者：小川宏子（公明党）

子どもの「いじめ」 早期発見の 取り組み

【質問】

- ① いじめの認知状況を問う。
- ② 昨年10月11日、大津市の中学生がマンションから飛びおり、死亡した事件を受け、今後の取り組みを問う。
- ③ 貧困、虐待問題を抱える子どもは、サポートを必要としているが取り組みを問う。



④ 居場所不明の子どもについて状況と取り組みを問う。

【答弁】 教育長

① いじめの現状は、本年度7月末まで、小・中学校合わせて7件のいじめがあったが、全ての事案について解決している。現在は、その後の継続指導等を行っている。

② 学校では、子どもの様子を把握し、アンケートや面談による実態の総点検を行っていく。いじめがあった場合は、関係機関とサポート体制をつくり、早期対応・解決に向けて取り組みたい。

③ 子育てに関する教育講演会の開催や養育支援等が必要とする家庭へ、保健師等が家庭訪問を通じ継続的な支援を行っている。また、要保護児童等の情報共有や適切な保護を図るため、東広島市要保護児童対策地域協議会で関係機関が連携し、迅速な対応を行い、子どもを見守っている。

④ 居場所不明の子どもはいない。被害の未然防止のため、

心配な子どもがいた場合、学校や子供家庭センター、警察、関係機関と連携し、問題解消に向けた支援を行っている。

がん検診受診 促進への取り組みと がん教育

【質問】

- ① がん検診の受診者の状況、受診率を上げるための取り組み、また、がん検診推進員に対する考えを問う。
- ② 子どものうちからの意識づけは大切だが、がん教育の必要性をどのように認識し、また、先進地事例に対する考えを問う。

【答弁】 教育長・福祉部長

① 昨年度の受診率は、胃がん13・9%、肺がん18・2%、大腸がん22・1%、乳がん27・1%、子宮がん25・7%で、平成22年度の全国と比較し、1から8%程度高い。また、受診率を上げるため、土曜日・日曜日の集団健診、レディース検診、大腸がん検診無料クーポン券と検診手帳の配布、啓

② 子どものうちからの意識づけは大切だが、がん教育の必要性をどのように認識し、また、先進地事例に対する考えを問う。

がんのイメージ	受診前	受診後
早期に見えれば治る病気	73.7%	95.1%
予防ができる病気	25.6%	85.8%
生活習慣が1つの原因として考えられる病気	35.2%	90.4%
老化とともになりやすくなる病気	29.5%	72.4%
怖い病気	75.9%	39.2%
手術が必要な病気	63.1%	27.0%
治らない重い病気	28.7%	2.5%

※「生きるの教室」2011年度受講生(4校計534人)のアンケート(複数回答)結果から

「生きるの教室」2011年度受講生アンケート

発ポスターの掲示など行っている。また、がん検診推進員は役割・活動内容を定めるなど、継続的・長期的な取り組みが必要と考え、県に効果の検証や継続的実施を要望し、取り組みを検討したい。

② がんの指導は、児童・生徒にも将来にわたる健康課題であると考え、現在、小学校では病気の予防という内容で、喫煙との関係について、中学校では、健康な生活と疾病の予防という内容で、生活習慣病として、喫煙や食生活の乱れ、運動不足などとの関係について扱っている。また、今後は、国や県の動向、先進地の事例も含め検討したい。



質問者…竹川 秀明 (公明党)

登下校の事故続発！ どうする通学路の 安全対策

【質問】

本年4月の亀岡市の通学路における痛ましい事故を契機に、国から通学路の緊急合同総点検の実施が通知された。

これは学校、道路管理者、警察が連携し、保護者、地域住民等の協力も得て通学路を点検し危険な箇所について対策を検討することとなっているが、その緊急合同総点検の結果、国への報告と対応及び安全点検の継続について問う。

【答弁】 学校教育部長

緊急合同総点検は、学校、保護者等、道路管理者及び警察と合同で8月23日に3ヶ所の点検を実施した。今後11月末までに通学路の安全対策を講じた内容について、広島県を通じ文部科学省へ報告す



緊急合同総点検の実施

る。対策必要箇所について、対策案を作成し、通学路の安全対策を計画的に実施していく。安全点検は、今まで継続してきた通学路安全検討会議とあわせ、総合的により有効かつ的確な通学路の安全確保となるように取り組みたい。

走行性や機動力から 消防活動用バイクの 導入は

【質問】

狭い道路等の走行性や機動

力の高さから、大規模災害時も含め、情報収集、消火、救助及び救急等の初動活動に効果的に活用されている消防活動用バイクに対する評価と本市への導入について問う。

【答弁】 消防局長

バイクの機動力を活かした活動は大変有効であると評価をしているが、運用方法を含め、交通事故、安全管理上の問題のほか、車両の維持管理などを考慮し、まだ検討の余地があると思われるため、導入先進地での活用方法、効果等をさまざまな面から研究するとともに、県内消防本部の動向も注視していきたい。

「自分の命は自分で 守るチカラ」の 防災教育は

【質問】

東日本大震災で岩手県釜石市では、独自の防災教育が功を奏し、市内の小・中学生のほぼ全員が、無事に避難し「釜石の奇跡」として、全国で大きく注目された。防災教育を



市内の小中学校の避難訓練の様子

受けていることが、有事のときに生死を分けることになるが、本市の児童・生徒の防災教育について、どのように計画、実施されているかを問う。

【答弁】 教育長

各学校において、より実効性のある避難訓練の実施のため、訓練後に評価を行い、課題を明確にする中で、マニュアルの改善に努めている。教育委員会としても、児童生徒一人一人がみずから、想定を超えたさまざまな災害発生時の危険を予測し、回避する能力を高め、みずからの命を守り抜くため、主体的に行動する能力を育成する防災教育の充実に向け取り組んでいく。